

# 雨水浸透枴って何??

Q1:「雨水浸透枴」とは何ですか？

雨とい等から流入してくる雨水を受けるバケツのような「枴（ます）」で、側面及び底面にある浸透孔から雨水を地中に浸透させる構造のものをいいます。（図 a 参照）

図 b と c は、既製品の例で、それぞれプラスチック製、コンクリート製のものですが、側面に孔が開いているのがわかります。この孔で吐ききれない雨水は、枴同士を管で繋いで、最終的に道路の側溝などへ放流する仕組みになっています。

図 a

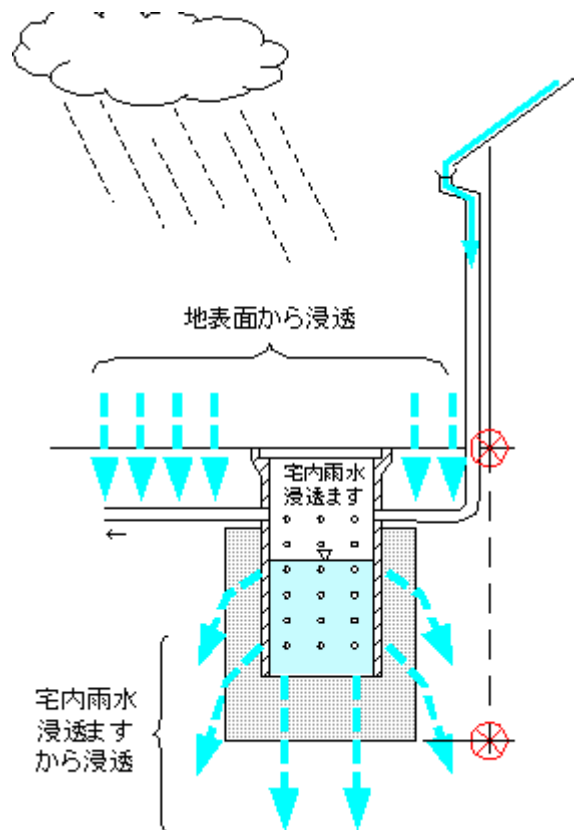


図 b



図 c

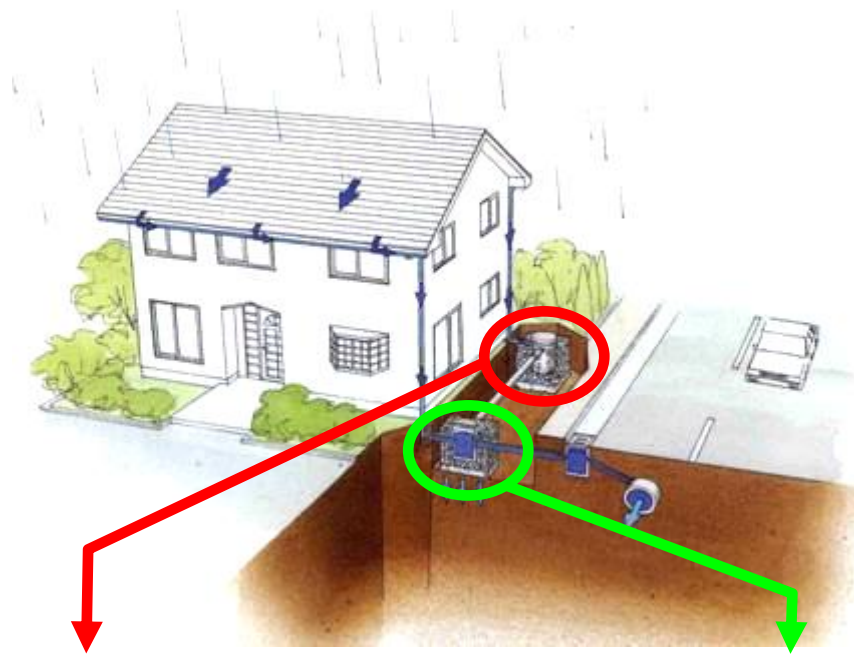


## Q2:どのような構造なのですか？

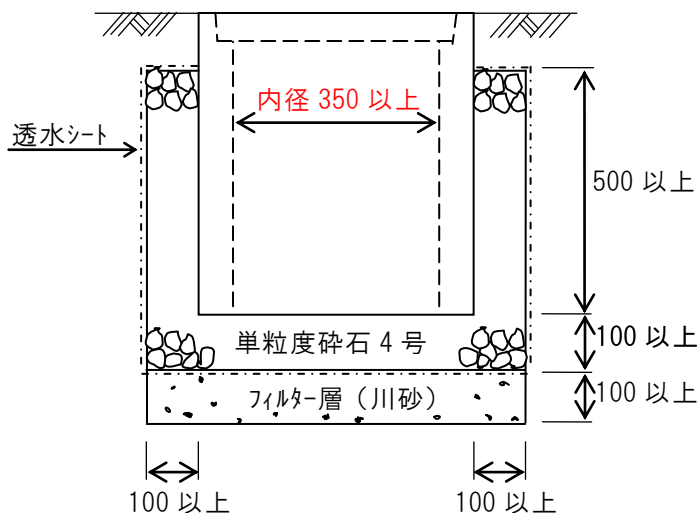
吉川市で指導しているものは、以下のとおり、内側の口径が 350mm 以上のパイプになります。

その柵の外側と下側に、単粒度碎石（直径 4cm の石）を敷き、透水シートで包み、基礎材に川砂をフィルター層として使用します。

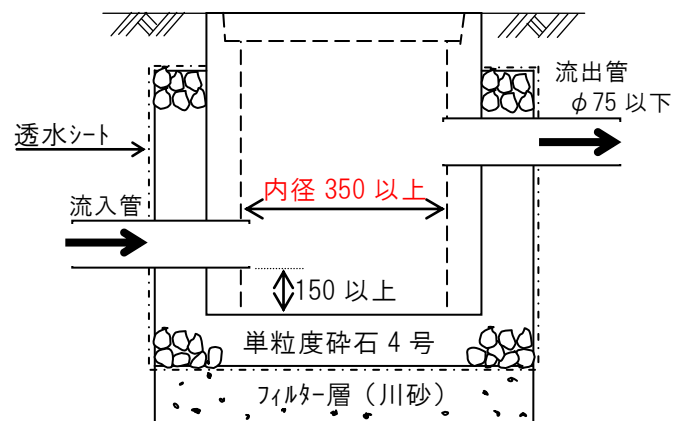
最終浸透柵というのは、その名のとおり、複数の浸透柵を設置した場合、最も下流側に設置するものです。公共下水道が整備されている地域ですと、殆どの最終浸透柵の流出管は道路側溝へ繋がっています。



浸透柵標準構造図



最終浸透柵標準構造図



これらの寸法を満たしていれば、浸透柵の材質は、コンクリート製、プラスチック製、塩化ビニル製等がありますが、どれでも構いません。

### Q3:設置した後は、誰が維持・管理をするの？

雨水浸透柵は、設置していただいた後もそこにお住まいになる方が、維持・管理をします。吉川市のマークが入っているものもありますが、あくまでも皆様の所有物です。雨水浸透柵には、雨といから雨水が流入してきますので、落葉や泥が溜まる場合があります。そうなりますと、十分な浸透機能を果たさなくなってしまうので、年に1回程度、できれば梅雨前や、台風シーズン前に掃除をするのがよいでしょう。



この部分が泥や土、落葉などで目詰まりすると、十分な機能を果たさなくなってしまうので、年に1回程度、できれば梅雨前や、台風シーズン前に掃除をするのがよいでしょう。

### Q4:通常の雨水柵よりも雨水浸透柵の値段のほうが高い？

いいえ、そんなことはありません。上の写真のように、既製品（2次製品、プレキャスト品という呼び方をします）なら、通常の雨水柵と、雨水浸透柵は、製造メーカーによって差はありますが、**値段が同じであることが殆ど**です。

### Q5:雨水浸透柵を付けて、効果はあるの？

先述したとおり、地下に雨水を浸透させる機能を持っているから、柵1つの浸透量は小さいのですが、**設置個数を増やしていただくと効果は大きくなり、道路冠水など水害の防止に役立つこととなります。**つまり、雨水浸透柵は道路の側溝へ放流する雨水を減らす役割があるのです。

また、流域全体（吉川市は中川・綾瀬川流域に該当します）の治水計画が、国と流域内の都県、市で定められており、その中で「各戸、貯留・浸透に努めること」と決められています。

したがって、雨水浸透柵を設置していただいているご家庭は、**治水行政に貢献・参加していただいている**といえるのです。